

最初で最後の!?

# キュレーター「コースI 新聞

本新聞は、黄金町芸術学校で開講されているキュレーターコースIの授業の中から生まれました。

キュレーターコースIは、東京や横浜を舞台に、様々な展覧会やアートイベントを企画する小川希（Art Center Ongougo 代表）がメイン講師となり、ひとつの展覧会を作りあげるために必要なノウハウを、1年間かけて学んでいくというものです。2012年5月の開講依頼、月に3回のベースで授業を行い、多彩なゲストを招きながら様々な視点でキュレーターの仕事について学んでいます。

\*  
ザールに参加するアーティストを紹介する文章を書いてみてはどうかということになり、それをまとめたのが本新聞のメイン記事となっています。

受講生は、お気に入りのアーティストを選び、自ら取材することで、作家や作品の見所や面白さをそれぞれの視点で伝えてくれています。ぜひとも会場巡りのお供に加えていただき、ご休憩の際にでも、ご一読いただけましたら幸いです。

\*

黄金町芸術学校は、今後ますます充実のラインナップで展開していきます。

これまでの授業を簡単に紹介すると、5月から7月にかけては、美術の歴史をジャンルごとに学びながら、現在進行形で活躍するアーティスト6人をゲスト講師として招きました。多種多様な表現を展開しているアーティストたちの話に、受講生はじっと耳を傾けていました。8月以降は、受講生自ら手を動かす授業がはじめました。東京のアートシーンをいち早く紹介するウェブサイト『TOKYO ART BEAT』で活躍する田原新司郎氏をゲストに招き、展覧会やアーティストを紹介するポイントやコツを学びました。この授業をもとに、今年の黄金町バ

ラルに参加するアーティストを紹介する文章を書いてみてはどうかということになり、それをまとめたのが本新聞のメイン記事となっています。

受講生は、お気に入りのアーティストを選び、自ら取材することで、作家や作品の見所や面白さをそれぞれの視点で伝えてくれています。ぜひとも会場巡りのお供に加えていただき、ご休憩の際にでも、ご一読いただけましたら幸いです。

\*

黄金町芸術学校は、今後ますます充実のラインナップで展開していきます。

キュレーターコースIでは、一つの展覧会の実現にむけた連続講義がスタート。ここで受講生たちが企画した展覧会は、2013年4月に黄金町を舞台に実際に開催される予定です。黄金町芸術学校は、一回からの参加もOKですので、これまで授業を受講されてない方でも、どのコース、どの回からでも受講できます。

この新聞を手にとり少しでもご興味を持られた方は、ぜひ一度足をお運びください。知識や経験は一切問いません。必要なのはアートへ向かわれたあなたの好奇心、ただそれだけなのですから。



《黄金町バザール》とは？

横浜市の初黄・日ノ出町地区で地域のまちづくりに取組む「初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会」と「黄金町エリアマネジメントセンター」が共同で開催するアートフェスティバルです。第5回目となる『黄金町バザール 2012』では、まちの景観やまちの活動と関係を結びながら展開するさまざまなアートの形をご紹介します。

作品展示の他、参加型ワークショップやトークイベントを通して、多様な角度からまちの現在を捉え、豊かなまちの将来を考えるきっかけとなることをめざします。



## I. 多彩なプログラム

初心者向けから専門性の高いレベルの内容まで多彩なプログラムで構成します。

## II. 交流の場として

アートの現場で活躍するアーティストやキュレーターなどと直接意見交換ができます。

## III. 気軽に参加OK！

少しだけ試したい方や忙しい方は、都合に合わせて気軽に1回から受講ができます。

## IV. 実践の場として

学んだことを実践できる場があります。

黄金町芸術学校とは？

2012年5月、黄金町芸術学校が開校しました。黄金町芸術学校は誰でも受講ができる「コミュニティスクール」です。様々な地域、年齢、分野の人たちが集まり、アートを通して多様な個性を伸ばすことを目的としています。

# Curator Course I Report



受講生 竹内裕子

## アーティスト 山田よしえさん

西アフリカの伝統的な手法で、染色の作品を制作されている山田よしえさん。彼女が染めた布が飾られているアトリエで直接お話を聞く事ができた。多色で幾重に重なった模様の布は、白い布にステッチ(布に糸を縫い付けて染めない部分を作る作業)を施し、色を染めて乾かし、そして解くという作業を何度も繰り返す事で完成する。親子という不思議な選べない縁、人と人が出会う奇数な縁など「選べない縁」という事を考えて出来た布は、そのままの姿で見てもらって触ってもらいたいと、ステッチを解かない作品もある。

会場を見てしまうとそれに合わせて作品を作ってしまうからと、あえて事前に見る事はせずに制作した布で展示をするという。縫ったステッチを解くまで予測できない作品同様に展示も当日まで予測できないのは、山田さんのいう「選べない縁」にも繋がりそうで、どんな展示になるのか開催日が待ち遠しい。



Yoshie Yamada

photo by Yasuyuki Kasagi

受講生 日野やや子

## アーティスト 照沼敦朗さん

照沼敦朗は、これまでアニメーションを中心とした作品を発表してきた。8月初旬より黄金町で滞在制作している「World in microcosm II」(人生の縮図II)と名付けられた作品は、以前制作した24メートルの壁画を半年がかりでアニメーション化し、インスタレーションの一部として展示するというもの。彼の内面世界や、現代社会を投影したかのような街の姿は、シニカルかつユーモラス。心をぐっと引きつける、詩的で刺激的な言葉のセンスにも注目したい。「黄金町のレトロな町並みが気に入っている」と言う照沼だが、黄金町で生まれ変わった作品ではどんな発見があるだろうか。



Atsuro Terunuma

photo by Yasuyuki Kasagi

momokon  
johansson

photo by Yasuyuki Kasagi

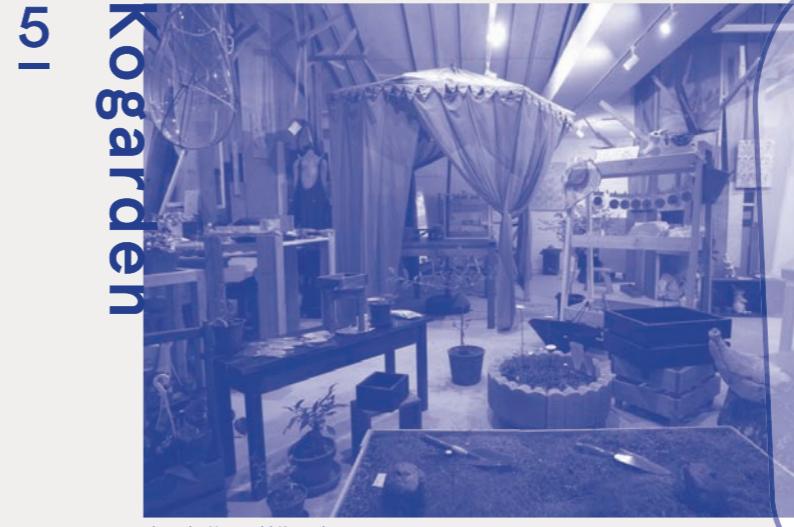
## アーティスト 伊佐治雄悟さん ー伸縮する日用品ー

雑然としたデスクの上には、作業用のカッターと、作品の素材となるカッターの刃が入り混じって置かれていた。そして試作中だという新たな素材のピンポン球。

黄金町ハツネテラスにレジデンスしている作家のアトリエを訪問した。これから黄金町バザールに向けて、新たな作品が創り出されるのである。伊佐治雄悟は、日常的な素材であるプラスチック製品や、ホッチキスの針などの金属を使い、本来の用途からは想像もつかないような美しい形状へと変化させるアーティストだ。液体を入れるはずのプラスチックボトルは、カッターを使い、連続する幾何学模様に細かい切り込みが入れられる。もはや液体を流し込むことは出来ないが、まるでセタの網飾りのように伸縮性を持つ物体へと生まれ変わる。紙を留めるはずのホッチキスの針は、自らがハンダで留められ建築物のように積み重ねられる。

《洗剤の容器》2011  
Photo by Wu Shin-Ying

## アーティスト コガーデンさん ー黄金町の奇想園芸店ー



Kogarden

photo by Yasuyuki Kasagi

## アーティスト モモコ・ヨハンソンさん

モモコ・ヨハンソン。学校卒業後すぐの香港でのレジデンスでは衣装を制作し、昨年の新代田での個展では「ショートケーキ宇宙」という浮遊観のある展示を披露した。しかし服作りやものづくりは実験的な「たのしみ」であり、モモコにとって本気のフィールドは「言葉をベースにした創作活動」だ。音楽や文章など様々な表現活動を手広く扱っているかのようだが、基本はすべて「言葉」にある。モモコ氏が一番大切にしていることは「表現」することよりも「感じる」こと。読む人には、言葉を色や雰囲気といったイメージとして感じてもらいたいと言う。読む人のイメージとモモコ氏が意図する表現に違いがあつてもよいと言うのは、同じ時代を生きる人々にとって、共通する原体験が必ずあるからと言う思いのもと。それがあつても見ているものは同じだと言う信念がある。これからはライブにどんどん挑戦したいと言う。今後のライブ活動や新しい物語の発表にも期待したい。

受講生 古藤香里

受講生

橋本佳苗

# キュレーターコース

2012年11月-2013年3月 受講生募集!!

## キュレーターコースI

### 講師

**小川希 (Art Center Ongoing 代表)**

受講生がチームになって、「黄金町」をキーワードにした展示コンセプトの企画立案を行ない、実際に展覧会をつくります。作品のキュレーションから設置シミュレーション作業、広報活動までを実践的に展開します。

展覧会は2013年4月の開催を予定しています。

本講座は1回からの受講が可能です。

ただし、2月以降の授業を受講する場合は、1月の受講も必須となります。

### 黄金町バザール・キュレータートーク1

ディレクターの山野さんからバザールの成り立ちや裏話まで、ここでしか聞けないお話を伺う。

11/15(木) ..... 山野真悟(黄金町バザールディレクター)

### 黄金町バザール・キュレータートーク2

キュレーターの平野さんから今回のバザールの作家選びのコンセプトや鑑賞ポイントを伺う。

11/22(木) ..... 平野真弓(黄金町バザールキュレーター)

### 企画者の頭の中

展覧会やスペースを実際に運営されている3方から、企画を立てる際のポイントについてコアなお話。

12/6(木) ..... 小林晴夫(blanClass ▶ <http://blanclass.com>)

12/13(木) ..... 伊藤悠(island ▶ <http://islandjapan.com>)

12/20(木) ..... 井上文雄(CAMP ▶ <http://ca-mp.blogspot.jp>)

-

### 黄金町のアーティストを知る

黄金町のアーティストがどんなことを考え何を作っているのか。作品や制作コンセプトについて直接お話を伺う。

1/17(木) 1/24(木) 1/31(木)

### 展覧会の企画を練る

アーティストの話や作品から浮かび上がったいくつかのキーワードをもとに、展覧会のコンセプトを形作る。

2/7(木) 2/14(木) 2/28(木)

### 企画の実現へ向けて

会場を見て回り、何処にどのような作品を設置するのかをシミュレーションをおこなう。同時にプレスリリースやチラシ制作など広報活動も展開する。

3/14(木) 3/21(木) 3/28(木)

## キュレーターコースII

### コーディネーター

**天野太郎 (横浜美術館主席学芸員)**

**木村絵理子 (横浜美術館主任学芸員)**

美術館の学芸員をコーディネーターにお招きし、文化施設におけるキュレーターの役割や運営について学ぶ入門講座です。後期では、展示空間ができるまでの施工や、情報発信を行なうための広報や連携する活動について学び、「展覧会をつくる」ことについて考えていきます。

本講座は通年の授業となります。1回からの受講も可能です。

### 美術館に関わる人々

11/9(金) ..... 佐野誠(スーパーファクトリー)、天野太郎

12/14(金) ..... 酒井英恵(三島一号館美術館広報プロモーション担当)

木村絵理子

### 展覧会をつくる

1/11(金) ..... 金氏徹平(アーティスト)、天野太郎

2/8(金) ..... 金島隆弘(FEC代表/アートフェア東京エグゼクティブディレクター)

木村絵理子

3/8(金) ..... 天野太郎

会場=高架下スタジオ Site-D (横浜市中区黄金町1-2番地先) | 時間=19:00-21:00 | 料金=各回 2,000円 | 定員=各20名

申込み方法=受講希望講座の実施3日前までに、件名に「黄金町芸術学校申込」、本文に「①講座名②氏名③電話番号④参加希望日程」を明記の上、Mail([shool@koganecho.net](mailto:shool@koganecho.net))またはFax(045-325-7222)にてお申込ください。

受講料について=お支払いは各講座開催日に受付にてお願いします。また、1,000円×5枚綴りのスクールチケットを4,500円で購入できるお得なチケットも発売中! 黄金町バザール 2012の開催期間中(2012.10/19-12/16)、キュレーターコースのみバザールバスポートで受講料が500円引きとなります!

その他の情報=各講座の最新情報は黄金町エリアマネジメントセンターのホームページでご確認ください。<http://www.koganecho.net>

問い合わせ=黄金町エリアマネジメントセンター 〒231-0066 横浜市中区日ノ出町2-158 Tel: 045-261-5467 Fax: 045-325-7222 Mail: [school@koganecho.net](mailto:school@koganecho.net)

その他全般共通注意項目=定員に達した場合は、申込みを締切させていただきます。 講座内容は予告なく変更する場合があります。

発行=黄金町芸術学校 キュレーターコースI 編集=小川希、古藤香里、竹内裕子、橋本佳苗、日野やや子、辺見マリ子 デザイン=原田光丞 協力=黄金町エリアマネジメントセンター